

エターナル・ラブ・イスラエル ☆ニュースレター5号☆



- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：<https://eternalloveisrael.amebaownd.com>
- メール：eternalloveisrael@gmail.com
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子

☆シオンから日本へのメッセージ☆

デイヴィッド&ヴィクトリア・トウルーベック



(デイヴィッド・トウルーベック師は1981年、ラトビアのユダヤ人ピリーバーの家族に生まれました。ラトビアにメシアニック・Congregationができるまでは、両親と共に土曜にはシナゴグに行き、日曜には教会に行くという生活をしていました。そして一家と共に1996年にイスラエルに移民しました。2011年、津波が日本を襲った時、デイヴィッド師は日本に対する重荷を受け取り、日本人のために祈り始めました。そして、神の日本人に対するご計画に参画したいとの思いが深まると共に、神は日本からのクリスチャンとの驚くべき関係を与えて下さったのです。そ

して、2020年に日本に引っ越し、日本人に福音を伝えると共に、日本に旅するイスラエル人を自由に迎えられる家を作って、イエシュアの福音を伝えようと考えています。デイヴィッド師は、イスラエル最大のヘブライ語を話すCongregationである、テルアビブのティフェレット・イエシュアの副牧師をしています。ヴィクトリア師は、1987年にラトビアの非宗教的なユダヤ人家庭に生まれ、家族と共に1996年にイスラエルに帰還しました。そして2006年にイエシュアを信じ、現在はデイヴィッド師と共にティフェレット・イエシュアの副牧師をしています。)

「そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。」(使徒の働き 2:46-47)

私たちは、とても重要な時代に生きていると信じています。新約聖書の「使徒の働き」に見られる1世紀の教会のように生きるピリーバーを、今、神が再興しておられるからです。1世紀のピリーバーたちは、聖霊と力に満ちていました。彼らは神殿に集まり、また、家々に集まっていました。そして、パンを共に裂き、共に祈り、聖書を一緒に学び、また神に仕えていたのです。

イスラエルにおける活動

神様に示され、私たちは自宅を開放して、様々な交わり、宣教活動、そして聖書の学びなどを行っています。まだ信じていない人々をCongregationに連れて行く前に、招く場所として最も理想的な場所は自宅であると、私たちは考えています。金曜の夜には安息日の食事をするのがイスラエルの風習ですが、そこに招かれた未信者たちは、ピリーバーから証を聞く機会があります。そして礼拝の時間には、言葉で言い表せない何かを感じたと、多くの人々が言います。私たちの目的の一つは、彼らがピリーバーに出会い、その人々の中の愛を見る事なのです。そして主の愛が彼らを信仰に導くことを私たちは願っています。現在、私たちは安息日の食事、伝道、夜の聖書の学び、若者の集会などを愛に満ちたこの場所で行っています。

「デポーションのタペ」では、集まって神の言葉を学んでいます。私たちの集会では、みんなで一緒に学び、知識を深め、考え、共に祈っています。私たちのビジョンは、この「デポーションのタペ」を毎日開催することなのです。イスラエルの地に住むユダヤ人が、旧約聖書や新約聖書についての知識や思索を、毎日深めることができるとすれば、とても素晴らしいことです。

日本における私たちの活動ビジョン



日本在住、日本を旅行するユダヤ人（イスラエル人）への伝道

「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」(ローマ 1:16)

ここ数年間で、日本を訪れるユダヤ人観光客は急増しています。彼らの多くは何か霊的なものを求めているのです。この機会をとらえて彼らに福音を伝えるのは私たちの使命だと感じます。イスラエル人が国を離れている間に信仰を持つ例は数えきれません。私たちはテルアビブにおいて、自宅を開放して若い人々を集める経験を積んで来ました。テルアビブにいる若者の多くもまた、家族や両親を遠く離れて暮らしています。テルアビブと同じように、若者を招いて様々なイベントを行い、それによって人間関係を作り、最終的には行動と言葉を通じてメシアの命を分かち合いたいと考えているのです。

私たちは日本でユダヤ人やイスラエル人に会い、安息日やユダヤの祭に彼らを招き、ユダヤの規定に合った(コシエルの)食事を提供し、宿舎も提供して、家を離れている若者に、家に帰った気分になってもらおうと願っています。そしてもちろん、私たちの行動や奉仕を見て、神の愛を示したいと考えています。

日本における霊的覚醒の時が来ています！

私たちは、何年も日本の霊的覚醒のために祈ってきました。日本が「宣教師の墓場」と呼ばれる「神道国家」であるのは悲しい事です。イエシュアは全世界における全ての権威を与えられたお方であり、日本においても神に至る唯一の道なのです。

「主は、王だ。地は、こおどりし、多くの島々は喜べ。」(詩篇97:1)

表面的に何の動きも見えない場合でも、神は水面下で働いておられます。今、イスラエルにおいて、多くのCongregationsは土を掘って、土台を据えています。イスラエルのピリーバーたちは、福音の進展を何十年も祈り続けて来ました。目に見える実はまだ少ないですが、これから大きな突破口が開けると言えるでしょう。それは、イエシュア・メシアを信じるイスラエル人の数が、現代イスラエルの歴史上、最高レベルに達しているからです。私たちは、日本の教会を励ますようにと、神に求められていると感じています。神は日本のために計画をお持ちであり、偶像による偽りの業を打ち砕く権威を、日本の教会にすでにお与えになりました。それは、人々のためにとりなし、宣教によって霊的覚醒をもたらすためです。それだけではありません。神が日本人に用意されている霊的覚醒は、日本だけでなく、全世界に鳴り響いて、メシアの福音を大きく前進させるものとなるのです。

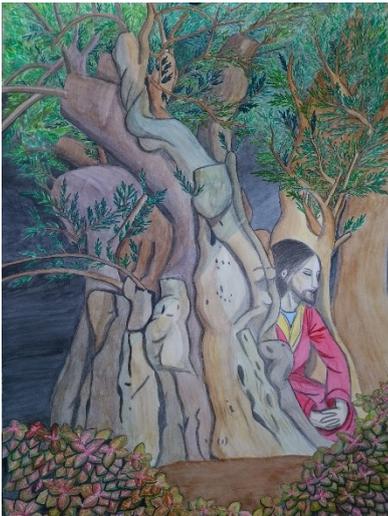
日本とイスラエルの間の関係を築く

「あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」(創世記12:3)

私たちの心の願いは、日本の教会とイスラエルのメシアニック・Congregationsの間に関係を築くことです。終りの時代におけるイスラエルの重要性と、この時代における教会のイスラエルに対する正しい態度を知っていただく必要があります。世界のメディアがユダヤ人国家について歪曲した報道をしている今、ユダヤ人ピリーバーのCongregationsを支援することは重要だと、私たちは考えています。そのために、皆様がイスラエルに旅行をされる時、現地での様々な活動に参加したり、メシアニック・ジューの証を聞いたりできるように、関係づくりをお手伝いさせていただきます。

☆ゲッセマネの園での祈り☆

宮本 純子



昨年9月から「ゲッセマネの園での祈り」を水彩画で描き始め、今年5月に絵が完成しました。一筆一筆を祈りをこめて描きました。俳優の石坂浩二さんが特別審査員を務めている「第3回あおば美術公募展」に出品します。

横浜市近郊にお住まいの方は、ぜひこの原画に会いにいらしてください。

●第3回あおば美術公募展

会期：7月6日(金)～7月16日(月・祝)

午前10時～午後6時*最終日は午後3時まで

会場：横浜市民ギャラリーあざみ野

(アートフォーラムあざみ野)

展示室1階・展示室2階 入場無料



☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』(詩篇 122:6～7)

- 平和の町であるエルサレムとイスラエルの平和のために。神様の計画と御心だけがなりますように。
- トランプ大統領やネタニヤフ首相、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を進めることが出来ますように。
- イスラエルと日本の政治・文化、あらゆる面で交流が祝福されますように。
- イスラエル国内であらゆるテロが起こらないように、あらゆる攻撃からイスラエルが守られるように。
- ヨーロッパから反ユダヤ主義がなくなりますように。国連とEUが公正公平な機関になりますように。
- 世界中に住むすべてのユダヤ人が、イエシュアを信じて救われますように。
- ユダヤ人に福音が伝えられますように。全世界に福音が宣べ伝えられますように。救われる魂を起こしてください。
- イスラエル・フィルオーケストラの世界的な指揮者のズービン・メータさん(81歳)の健康のためにお祈りくださり、ありがとうございました。お元気になられたようですが、どうか続けてお祈りください。救われるようにお祈りください。
- イエス様を信じているメシヤニック・ジューの一人一人を主が豊かに用いてくださり、さらに救われるユダヤ人が起こされますように。メシヤニック・ジューの信仰をさらに強めてください。
- 日本で多くのユダヤ人がイエス・キリストと出会い、救われますように。トラクトを用いてくださるように。特に、日本を訪問し、滞在するユダヤ人がこの日本で救われますように。
- 日本を旅行するユダヤ人に私たちが神さまの愛を伝え、神様の愛でおもてなしをし、伝道することが出来ますように。知恵が与えられ、働き人が起こされますように。
- 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために、神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者たちが起こされますように。
- 7月21日のエターナル・ラブ・イスラエルの特別集会在が祝福されますように。メッセージを語ってくださるデイヴィッド・トゥルーベック師が聖霊で満たされて、通り良き管として師を通して主が語ってくださるように、主が豊かに用いてくださいますように。デイヴィッド&ヴィクトリア・トゥルーベック師のイスラエルと日本での働きが祝福されますように。
- 通訳をしてくださる石井秀和さんのために覚えてお祈りください。

☆エターナル・ラブ・イスラエル 特別集会のお知らせ☆



2018年7月21日(土) 午後1時から3時

日本を心から愛するメシニック・ジューをお招きします！

講師:デイヴィッド・トウルーベック師

ヴィクトリア・トウルーベック師

ティフェレット・イエシュア・メシニック・Congregation

通訳:石井 秀和 兄

「イスラエルと日本とのつながり、そしてこの時代への神の計画」

参加費:無料(席上献金あり)ご自由にご参加ください。

会場:お茶の水クリスチャン・センター 811号室

☆みどり野キリスト教会 Jesus Family Church(西村 内弘 牧師)

2018年7月22日(日)午前10時30分～主日礼拝

「メシアにあって一つのからだである私たちへの啓示」

講師:デイヴィッド・トウルーベック師

通訳:石井 秀和 兄

場所:Jesus Family ビジョンセンター(東京都町田市三輪町 392)小田急線 柿生駅発「市が尾駅」行き「亀井橋」バス停下車。

東急田園都市線 市が尾駅発「柿生駅」行き 約15分。「亀井橋」バス停下車。

ローソンと、そば便利屋の間を進み、2本目の川の手前を右折。徒歩約5分

☆エターナル・ラブ・イスラエル DVDのご案内☆



ハナン・ルカス師

「我らの過越しの小羊なるキリスト」

&

「過越しの祭りの食事の深い意味」

「預言的視点から見た主の例祭 レビ記23章」

* いずれも1000円(税込)です。

ご注文は同封の振込用紙をご利用ください。



☆献金のお願い☆

いつもお祈りと尊いご支援をくださり、本当にありがとうございます。心から感謝致します。

エターナル・ラブ・イスラエルは、神様が建て直してくださった働きなので、必ず必要を満たしてくださると信じています！ユダヤ人伝道は、とても大切な働きです！どうか再開したばかりのこの何もない小さな働きを覚えてください。捧げてくださるおひとりひとりの上に主の祝福が豊かにありますよう心からお祈り致します。

すべてのことを神様に心から感謝致します。